

募集 Info

皆さんの予土線への思いを5・7・5に綴ってみませんか？ 第8回「JR予土線川柳」募集中！

問 企画振興課 地域活力創出係 内線2215

予土線利用促進対策協議会では、予土線の利用促進を目的に、毎年「予土線川柳」を募集しています。長い歴史を誇る「あなたの予土線」を川柳で詠んでみませんか？入賞者には豪華賞品もあります。

募集テーマ

「予土線と夏」「予土線と恋」

応募期限

9月30日(木)まで(当日消印有効)

募集部門

【きらきらキッズ部門】小学6年生以下

【青春部門】中学1年生から高校3年生まで

【いい大人部門】15歳以上(中学・高校生除く)

応募方法(郵送または応募フォーム)

- 1回につき3句まで応募可
- ※ 1人何度でも応募可。ただし、受賞については1人1作品まで
- 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、学生の場合は学年、学校名を明記
- ペンネーム・メールアドレスがある場合は記載(ペンネームがない場合、実名での公開)

応募フォーム

<https://forms.gle/HDn4KghPG7wiLvUk9>



応募先

〒798-1395
愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永800番地1
愛媛県予土線利用促進対策協議会
(鬼北町役場企画振興課内)
「第8回JR予土線川柳募集」係
【E-mail】shinkou@town.kihoku.ehime.jp

お知らせ Info

下大野の国道320号沿いに高田賢一・波津夫妻が短歌碑を建立

下大野の国道320号沿いに四万十川を詠んだ短歌碑を高田賢一・波津夫妻が建立しました。

下大野出身の賢一さんは、波津さんが短歌のコンクールで入選したことから、広見川の見渡せる場所に短歌碑を設置する約束をしていましたが、5年前から闘病生活となり、実現することが難しくなっていました。この短歌碑は、そのような状況の中、波津さんが2人の約束を果たそうと建立したものです。短歌碑は、賢一さんの誕生日である7月6日に建立され、2人の入選した短歌が刻まれています。

文字には、タイプデザイナーである娘の高田裕美さんが考案した「UDデジタル教科書体」を使用。「UDデジタル教科書体」はディスクレシア(読み書き障がい)やロービジョン(弱視)の子どもたちのために考案された字体で、手書きの字形と同一になるようにデザインされており、Windows10にも搭載されています。歌碑等にこの字体を使用することは、全国的にも初めての試みとなりました。



▲建立された短歌碑

第9回 四万十川短歌全国大会

佳作 天然の鰻^{うなぎ}を恋ふる四万十の
さざれ石置く釜^{くま}の目印
高田 賢一

NHK短歌

三席 四万十の川面に浮きて眠る鮠^{はや}
月夜に夫と網^{つま}にすくいぬ
高田 波津